

## 視察研修報告

### ◆議会運営委員会

#### 【視察日】

令和2年2月6日～7日

#### 【視察先】

(敬称略)

○阿見町 予科練平和記念館

○笠間市 筑波海軍航空隊記念館

○館山市 館山海軍航空隊赤山下壕

○横須賀市 記念艦 三笠

#### 【参加議員】

議会運営委員5名・議長・副議長

#### 【視察目的】

戦争遺跡の保全・活用と

歴史継承の事例研究

#### 【視察内容】

令和元年第4回定例会において、本村大山区に在る東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡地(旧鹿島海軍航空隊跡地)の司令棟屋上防水工事約1、

500万円の補正を同地の利活用の説明不足及び必要性の精査不十分として、修正動議及び修正案の可決を行ったところである。

今回視察先は旧日本軍に関する遺構の利活用を行っている施設を訪問し、様々な保存形態、利活用方針、成功談、失敗談等の事例を研究し、本村の大山区の東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡地検証のための情報収集を行った。

阿見町予科練平和記念館は、本村に隣接する阿見町に所在し、鹿島海軍航空隊に縁深い霞ヶ浦海軍航空隊の遺構をもとに設置されている。

戦争遺構の保存を行っている施設とは思えないほど明るい施設であり、また展示の方法も自分が予科練生徒となり今まさにその場に立っているようであった。

笠間市の筑波海軍航空隊記念館はその名の通り筑波海軍航空隊に起因、クラウドファ

ンディングによる保全・整備費の確保や、フィルムコミッションによる運営により、映画・ドラマの舞台としても活用しており、観光地としての付加価値を遺構だけではなく映像の分野まで広げており、その先進的な活動を余すことなくご紹介いただいた。

館山市の館山海軍航空隊赤山下壕では、館山市戦争遺跡保存活用方策に関する調査研究報告書作成の詳細について伺う予定であったが、令和元年房総半島台風及び令和元年東日本台風による被災の傷も癒えぬ中であつたことから、市役所への訪問は行わず史跡のみ見学を行った。

横須賀市の記念艦三笠は、戦艦をそのまま記念館として保存しており、膨大な資料の展示、VRやスマートフォンによる音声案内等のデジタルコンテンツ、周辺の公園としての整備等、資料の正確さとその展示方法、周辺環境の活用の方法に至るまで終始驚かされた。

## 活動報告

### ◆茨城県町村議会議長会

自治研究会

#### 【日程】

令和2年2月20日

#### 【行程】

(敬称略)

○水戸市 茨城県市町村会館

#### 【参加議員】

議員12名

#### 【研修内容】

早稲田大学教授の片山善博氏を講師としてお迎えし、「地方の再生と日本の将来」をテーマに講義をいただいた。

茨城県に縁深い方であり、本県の地方自治について親身に考えを巡らせていただき、地方自治の重要性とりわけ地方議会の活気の重要性について丁寧に教示いただいた。

